

ふるさと納税を利用し、 先人記念館建設を

質問 水沢の三偉人記念館は老朽化が著しく、貴重な資料の保管もままならない状況と聞いている。教育的にも、郷土の誇りや、観光の見地からも建てるべきだと思う。関係者も各記念館とも改築しなければという認識を持つているが、問題になるのは資金がないことである。そこで「ふるさと納税」と新規に導入される「企業版ふるさと納税」を活用することを提案する。ふるさと納税を「記念館新築基金」という目的税にし、市民一丸となり寄付を集め、ふるさと納税を広くお願いし、目的を達成することにより、奥州市の一体感も醸成されるものと確信する。

教育委員長 偉人館もそうだが、市内のある文化財なども含め、どのようにするのがベストなのか、関係者とも協議しながら前向きに検討する。

市長 建て替えの必要性、資金の調達、記念館としての必要性、人員配置など具体的に検討し、最終的には平成28年度末までに、運営審議会で検討する。

二元代表制を最大限生かす行政について

質問 地方自治体は首長、議会議員とも市民が直接選挙で選ばれる二元代表制が採用されている。この二元代表制を最大限生かすことが、市民の福利、



佐藤 邦夫 議員(市民クラブ)

幸福につながり、お互いに尊重しあうことが重要であると考えます。議会ではそのために通年議会や、タブレットの導入、政務活動費の増額など検討しているが、市長の考えは。

市長 議会基本条例が定めるところの「さらなる議会の活性化を図り、もって奥州市の豊かなまちづくりを実現する」ため、必要なことと自ら判断されたものと尊重する。



後藤新平記念館

保育所の待機児童解消のために保育士の確保を

質問 保育所の待機児童が年度当初は0に近くても、年度途中には増えていく。保育士の不足が原因と思われるが、保育士の確保策について伺う。

市長 県の社会福祉協議会と連携して、資格があっても保育の仕事をしていない潜在保育士の掘り起こしに努める。保育士の仕事は、勤務時間が不規則で家庭生活との両立がむずかしい、離職が多いといわれている。

質問 休日保育は日曜日などが仕事で休めない保護者のために実施されており、重要性が大きい。市内では、これまで6カ所の私立保育所で実施していたものが、この4月から2カ所に減るが、市の対応はどうか。

市長 休日出勤した保育士の代休などで、保育士に余裕がなく、保育士不足が影響していると思われる。休日保育の需要に対応するため、市立保育所での取り組みを、体制が整ったから早い時期に実施したい。

質問 鳥獣被害と対応策

近年、野生動物



認定こども園八日市幼稚園 (江刺区)

市長 平成26年度は31件、390万円であり、ニホンジカ、クマ、ハクビシンによるものである。対策としては、シカ用の電気柵をりんご園に設置したり、イノシシ捕獲用の箱わなやニホンジカ捕獲用のくくりわな購入に補助を出している。さらに、ハクビシン捕獲用の箱わなを貸し出している。県、金ヶ崎町、獺友会と協同で、ハンター養成に取り組んでいる。



千葉 敦 議員(日本共産党)